



こども防災マイスター自主企画

# オリジナル防災手帳をつくってみよう

**7月24日(日)**  
**14時半～17時**

**場所:シェアリーカフェ**

**参加費:高校生まで無料、大人1人500円**

かならず事前にお申し込みください。  
見学だけでも大人は500円いただきます。



昨年の横浜市大とのワークショップのようす

防災手帳に必要なものってなに？  
どんな内容が書いてあると役に立つだろう？

こどもたちの目線で考えた防災手帳とは？

みんなでわいわいワークショップをしながら、

みんなのアイデアをまとめます！

この日に出たアイデアをもとに、

こどもたちのオリジナル防災手帳を

完成させる最初の一步とします！

**主催:NPO法人ミニシティ・プラス  
&こども防災マイスターたち**  
**参加申し込み先:**

**NPO法人ミニシティ・プラス**  
**minicityplus@gmail.com**  
**tel&fax 045-306-9004**

よこはま市民防災憲章には「こどもたちの力も借りて、一緒に拠点運営を行います」「こどもたちに、大地震から身を守るための知恵と技術、そして助け合うことの大切さを教えます」とうたわれています。

地域で暮らすこどもたちは、いざというときに大人たちと力を合わせて「自助」「共助」の役割を果たしていくことができる力があるはず・・・。

昨年5月にNPO主催の東北大震災現地視察ツアーに出かけ、各地でのこどもたちの活躍や役割がどうだったかを体感してきたこどもたちに、横浜市立大学の防災まちづくりを専門とする石川永子先生らと連携し、6～9月まで、防災まちづくりや災害対応のワークショップ4回、10月に宿泊を伴う防災キャンプを実施しました。防災キャンプでは、東北ツアーやワークショップで得た知識や経験を活かして、実際の災害時直後から数週間の避難所運営と復興まちづくり活動の模擬訓練を行い、こどもたちが災害時に担う役割やその可能性についての実証実験をしました。当日は、こどもたちが地域役員や行政担当者の役割を担い、主体的に受け入れ側となり、一般市民役の大人のみなさんと避難所運営を行いました。「こども防災マイスター」はこれらのプログラムをすべて修了したこどもたちです。

**「こども防災マイスター」が、災害時に役立つものとして、自分たちで作った  
‘防災手帳’があつたらいいな!と、今回自主企画しました。  
みんなで作り上げていく、防災手帳。参加者、大募集します!」**